

# 古城小だより

旭市立古城小学校  
平成30年12月11日  
NO. 15



豊かな心をもち、自ら学び、たくましく生きる子の育成  
体験的な活動は児童の確かな学びと心の豊かさにつながります。



11月16日（金）、1・2年生の校外学習「成田ゆめ牧場」での一コマです。「生活科」の学習として動物とのふれあいや1・2年生の中での縦割り活動をメインに、充実した1日を過ごしました。当日は、素晴らしい秋晴れの下、「芝滑り」「バター作り」「アスレチック」なども楽しみました。学校ではできない貴重な体験をすることができました。



12月4日（火）は、5年生が社会科見学で、鹿島方面に行きました。「新日鉄住金鹿島工場」と「鹿島港見学（遊覧船）」「茨城県栽培漁業センター」を訪問しました。

工場の規模の大きさはもちろん、溶かされた鉄の熱さや製品として鉄板が巨大コイルになるまでを見たり、鹿島港に入港する外国からのタンカーの大きさに驚いたり、稚魚や稚貝が大きく成長する様子を間近で見たり触れたりなど、社会の教科書や資料集で学んだことを実際に目で見て、肌で感じることで、学習が大変深まったようです。学年の発達段階に応じた体験的な学習をこれからも大切にしていきたいと思ひます。

国からのタンカーの大きさに驚いたり、稚魚や稚貝が大きく成長する様子を間近で見たり触れたりなど、社会の教科書や資料集で学んだことを実際に目で見て、肌で感じることで、学習が大変深まったようです。学年の発達段階に応じた体験的な学習をこれからも大切にしていきたいと思ひます。

## 古城っ子の活躍が続きます。

- ◆市健康体づくりフェスティバル グラウンドゴルフの部  
準優勝 古城M3（6年 林 瑞穂さん・石毛 芽久実さん・内田 愛弓さん）
- ◆第7回東総ミニバス秋季大会第3位 共和MBC（5年 荒井 優菜さん・石塚 子々さん）
- ◆第3回全関東空手道選手権大会 少年 5年生 女子 優勝 増田 璃子さん  
同 少年 4年生 女子 優勝 増田 瑚子さん
- ◆新川浄化運動啓発作品ポスターの部 優秀賞 6年 栗栖 悠仁さん  
同 努力賞 5年 元嶋 良輔さん

## 元気なあいさつが古城っ子の自慢になるように。

元気なあいさつができることは子供であろうが、大人であろうが大切なことです。職場の事務所の中にもあいさつのことが掲示してあるところも珍しくないと思ひます。

古城小学校でも「あいさつ」を大切に考えています。写真は、古城っ子委員会や学級の代表が中心となり、あいさつ運動をしているところです。今年は、校門の近くでこの運動を展開しています。メンバーを変えながら、10・11・12月と3か月続けています。少しずつではありますが、明るいあいさつができる児童が増えてきています。子供たちの様子を見てみると、

- ・ 決まった場所ならできる。
- ・ 知っている人にはできる。
- ・ 先に相手から声がかかるとできる。

という特徴があります。できれば、「どこでも」「学校に関わる人ならだれにでも（来校者）」、「まず自分から」できるようになることが目標です。

家庭でのあいさつはいかがでしょう。「おはようございます」「行ってきます」「いただきます」など、生活の様々な場面に出てくるあいさつ。元気なあいさつができる古城っ子を目指して、学校と家庭と一緒に頑張っていきましょう。あいさつ運動へのご協力、お願いします。

また、朝夕の寒さが厳しくなってきたこの季節、児童の食事のとり方が健康を左右します。裏面に、千葉県教育委員会「学校から発信する家庭教育支援プログラム」より、小学生の食事についての資料を載せましたので、参考にしてください。

健康の基本は、「早寝・早起き・朝ごはん」です。



今回は、下記のようなメッセージが届きましたので紹介します。発表の声や出入りの音、運営の問題などやってみてわかることも多いので、今年の実践を次年度に生かせるように頑張ります。

古城っ子フェスタ、楽しませていただきました。学級発表についてもう少し工夫した方がよいと思ひます。私が見学したクラスは正直何を言っているのか全く分かりませんでした。子供たちの声も小さくて周りも出たり入ったりしてガヤガヤして何も聞こえませんでした。授業としての発表なら、もう少しキチンとした形の方がよかったのでは…。遊びフェスタについては、子供たちは時間が足りなかったあと、すごく楽しかったようです。学級発表の時間をそちらに回しても良かったかなと思ひました。

